

USAID と NSF、途上国の研究者を対象とする新たな共同研究助成金イニシアチブを立ち上げ
(7月8日)

米国国際開発庁 (U.S. Agency for International Development : USAID) と米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) は、発展途上国における科学インフラの向上を目指す新たな研究助成金イニシアチブ、「研究への関与向上のためのパートナーシップ (Partnerships for Enhanced Engagement in Research : PEER)」を共同で立ち上げることを発表した。同イニシアチブは、再生可能エネルギー、食糧安全保障、気候変動、防災といった研究分野において、NSF から研究補助金を受給する研究者と共同で研究に取り組む途上国の研究者に補助金を提供するもので、USAID と NSF は 2011 年 1 月以降、バングラデシュ、タンザニア、マリ、ケニア、ブルキナファソで、気候変動や地震学、生物多様性、水文学の分野の 6 つの試験的共同研究プロジェクトに対して計 15 万ドルを交付している。USAID は今後 5 年間で 700 万ドルを拠出し、それに追加する形で NSF が資金提供を行い、合計最高額 1 億ドルが同イニシアチブに対して拠出される予定である

American Association for the Advancement of Science, *New U.S. Program Funds Research Collaborations in Developing World*

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2011/07/new-us-program-funds-research-co.html>